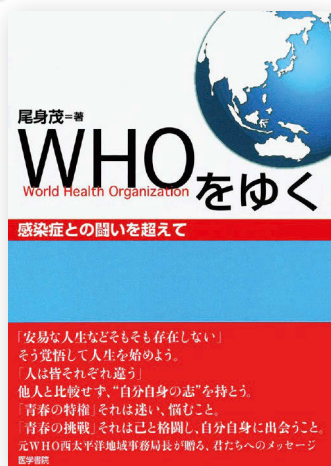


今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.119) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



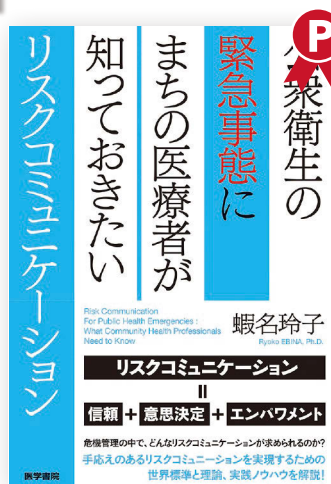
WHO をゆく

感染症との闘いを超えて

尾身 茂＝編

定価 3,080 円／A5 判・176 頁／医学書院／2011

政府の新型コロナウイルス対策分科会の会長として知られる尾身茂氏は、WHO（世界保健機関）アジア西太平洋地域における小児麻痺（ポリオ）根絶の立役者だ。21 世紀最初の公衆衛生危機となった SARS（重症急性呼吸器症候群）対策でも陣頭指揮をとり、日本に戻ってからは新型インフルエンザ対策で活躍した。『公衆衛生』誌での連載をもとに東日本大震災以降の医療・社会について加筆された本書は、まさに感染症と闘い続けた尾身氏の奮闘記。志とは？ 覚悟とは？ 己との格闘とは？ 自ら道を拓こうと欲する、若者に贈る。



公衆衛生の緊急事態に

知っておきたいリスクコミュニケーション

蝦名 玲子＝著

定価 2,860 円／A5 判・296 頁／医学書院／2022

コロナの時代。公衆衛生の時代。そして、リスクコミュニケーションの時代。「正しさ」があふれ、何か一言口にすれば非難される恐怖がつきまとう。不安という立ちが隠せない日々のなか、専門家はどのように振る舞えばよいのか——。「リスクコミュニケーション」は、そんな悩みに応える 1 つの方法である。迷える“まちの医療者”に向けて、医療リスクコミュニケーションの専門家が語る“リスクミ”の真髄とその理論を 1 冊にまとめた。



人体 vs ウイルス

驚異の免疫ネットワーク

NHK スペシャル「人体」取材班 / 坂元志歩＝著

定価 2,970 円／B5 判・144 頁／医学書院／2022

2019 年末に報告されて以来、世界中をパンデミックに陥れた新型コロナウイルス。人体、そして人間社会は、これまでどのように新型コロナウイルスとその感染症に対峙してきたのか？ そしてこの先どのように共存していくのか？ 新型コロナウイルスがヒト細胞に感染する仕組み、ウイルスに抗う人体の免疫システムなどを、豊富なビジュアル資料とともに描きながら、ヒトとウイルスの未来に迫っていく。人体と新型コロナウイルス、その攻防をビジュアル資料で描く NHK 人気番組を書籍化！